

2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月11日

上場会社名 大阪油化工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4124 URL <https://www.osaka-yuka.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 哲平  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役業務部長 (氏名) 島田 嘉人 (TEL) 072-861-5322  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	649	16.6	93	56.9	89	50.4	58	67.5
2022年9月期第2四半期	556	△0.6	59	175.3	59	73.6	35	136.2

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 58百万円(67.5%) 2022年9月期第2四半期 35百万円(136.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	56.98	56.92
2022年9月期第2四半期	33.28	33.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	1,973	1,806	91.5
2022年9月期	2,058	1,813	88.1

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 1,806百万円 2022年9月期 1,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年9月期	—	0.00			
2023年9月期(予想)			—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,250	5.9	150	9.1	150	7.1	100	13.3	94.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年9月期2Q	1,073,500株	2022年9月期	1,073,500株
2023年9月期2Q	38,306株	2022年9月期	11,506株
2023年9月期2Q	1,034,855株	2022年9月期2Q	1,057,932株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年10月1日~2023年3月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の抑制と経済活動の両立が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。部材不足による供給面での制約や資源・原材料価格の上昇、世界的な金融不安の高まりなどにより、足元では景気回復のペースに鈍化が見られました。

このような状況のもと、当社は2022年11月10日に公表しました3か年中期経営計画(2023年9月期~2025年9月期)に基づき、

- ①事業継続力の強化
- ②自社製品開発の推進
- ③品質性能の向上

等の企業活動に取り組み、長期的な企業価値向上に努めております。

受託蒸留事業では、全般的に堅調ながら、半導体メーカーにおいて在庫調整や設備投資計画を見直す動きがみられ、電子材料向け案件の引き合いが減少したことにより、減速感が生じております。また、プラント事業では、自社オリジナル装置の開発と並行して、蒸留装置の工事・メンテナンスを実施するとともに、ろ過装置の受注を獲得しております。以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、649,132千円(前年同期比16.6%増)となりました。利益面におきましては、営業利益は93,156千円(前年同期比56.9%増)、経常利益は89,791千円(前年同期比50.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は58,970千円(前年同期比67.5%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

#### (受託蒸留事業)

受託蒸留事業におきましては、電子材料向け案件の引き合いが減少するも、その他の蒸留案件の引き合いは引き続き堅調に推移したことにより、受託蒸留事業の売上高は588,251千円(前年同期比11.5%増)、セグメント利益は236,173千円(前年同期比20.9%増)となりました。

#### (プラント事業)

プラント事業におきましては、蒸留装置の工事・メンテナンスの実施及びろ過装置の安定的な受注により、プラント事業の売上高は117,321千円(前年同期比138.6%増)、セグメント損失は8,737千円(前第2四半期連結累計期間はセグメント損失23,347千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ85,013千円減少し、1,973,551千円となりました。

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ71,721千円減少し、1,001,104千円となりました。主な要因は、現金及び預金が38,757千円減少、製品の売上により、商品及び製品が18,014千円減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ13,291千円減少し、972,447千円となりました。主な要因は、設備投資の実施により機械装置及び運搬具(純額)が22,339千円増加したものの、繰延税金資産が13,494千円、建物及び構築物(純額)が9,266千円、顧客関連資産が4,071千円減少したことによるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ77,516千円減少し、167,261千円となりました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ75,433千円減少し、154,761千円となりました。主な要因は、未払費用が35,251千円、未払法人税等が14,040千円、買掛金が12,314千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,083千円減少し、12,500千円となりました。要因は、繰延税金負債が2,083千円減少したことによるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7,496千円減少し、1,806,290千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が31,163千円増加した一方、自己株式立会外買付取引及び自己株式の処分の実施により、自己株式が38,659千円増加したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ38,757千円減少し、762,604千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は118,616千円（前年同期は41,019千円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益89,791千円、減価償却費61,403千円があったものの、仕入債務の減少額12,314千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、71,471千円（前年同期は71,371千円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出68,805千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、85,901千円（前年同期は26,284千円の支出）となりました。その要因は、自己株式の取得による支出59,440千円、配当金の支払額26,461千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、2022年11月10日付「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	801,362	762,604
受取手形、売掛金及び契約資産	119,310	105,771
電子記録債権	—	16,811
商品及び製品	54,218	36,204
仕掛品	35,365	23,103
原材料及び貯蔵品	30,060	26,238
前払費用	21,763	27,600
その他	10,743	2,770
流動資産合計	1,072,825	1,001,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	415,410	406,144
機械装置及び運搬具（純額）	188,995	211,334
土地	157,071	157,071
建設仮勘定	43,545	48,220
その他（純額）	51,523	44,164
有形固定資産合計	856,546	866,936
無形固定資産		
のれん	25,774	21,908
顧客関連資産	43,428	39,357
ソフトウェア	3,759	2,916
その他	429	429
無形固定資産合計	73,391	64,610
投資その他の資産		
長期前払費用	4,901	3,495
繰延税金資産	40,245	26,750
その他	10,654	10,654
投資その他の資産合計	55,802	40,900
固定資産合計	985,739	972,447
資産合計	2,058,564	1,973,551

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,686	5,371
未払費用	66,064	30,812
未払金	33,987	25,732
未払法人税等	37,813	23,773
未払消費税等	22,604	17,867
契約負債	6,996	17,308
賞与引当金	23,568	23,896
預り金	21,130	9,567
その他	345	432
流動負債合計	230,195	154,761
固定負債		
繰延税金負債	14,583	12,500
固定負債合計	14,583	12,500
負債合計	244,778	167,261
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	346,497	346,497
資本剰余金	313,039	313,039
利益剰余金	1,172,362	1,203,526
自己株式	△18,113	△56,773
株主資本合計	1,813,786	1,806,290
純資産合計	1,813,786	1,806,290
負債純資産合計	2,058,564	1,973,551

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
売上高	556,561	649,132
売上原価	306,826	345,636
売上総利益	249,734	303,496
販売費及び一般管理費	190,357	210,339
営業利益	59,377	93,156
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	24	10
その他	321	33
営業外収益合計	346	43
営業外費用		
支払手数料	—	235
固定資産除却損	—	3,172
その他	4	0
営業外費用合計	4	3,408
経常利益	59,719	89,791
税金等調整前四半期純利益	59,719	89,791
法人税、住民税及び事業税	11,474	19,408
法人税等調整額	13,035	11,411
法人税等合計	24,509	30,820
四半期純利益	35,210	58,970
親会社株主に帰属する四半期純利益	35,210	58,970



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	35,210	58,970
四半期包括利益	35,210	58,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,210	58,970
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	59,719	89,791
減価償却費	71,058	61,403
のれん償却額	3,866	3,866
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,269	△3,271
棚卸資産の増減額 (△は増加)	31,522	34,098
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,243	△12,314
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△886	—
その他	△28,699	△21,858
小計	79,067	151,714
利息及び配当金の受取額	0	0
法人税等の支払額	△38,048	△33,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,019	118,616
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△71,371	△68,805
有形固定資産の除却による支出	—	△2,666
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,371	△71,471
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△59,440
配当金の支払額	△26,284	△26,461
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,284	△85,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△56,636	△38,757
現金及び現金同等物の期首残高	715,460	801,362
現金及び現金同等物の四半期末残高	658,823	762,604

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年11月11日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、2022年11月14日付で、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、株式数40,000株、取得価額59,440千円を取得いたしました。また、2023年1月19日開催の取締役会において譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を決議し、これに基づいて2023年2月16日に自己株式13,200株の処分を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末日現在の自己株式は、38,306株、56,773千円となっております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において「流動負債」の「その他」に含めていた「契約負債」は、第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組替えを行っております。

なお、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に含まれる「契約負債」は6,996千円であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	395,139	—	395,139	—	395,139
研究開発支援	132,656	—	132,656	—	132,656
プラントサービス	—	28,765	28,765	—	28,765
顧客との契約から生じる収益	527,795	28,765	556,561	—	556,561
外部顧客への売上高	527,795	28,765	556,561	—	556,561
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	20,400	20,400	△20,400	—
計	527,795	49,165	576,961	△20,400	556,561
セグメント利益又は損失(△)	195,338	△23,347	171,990	△112,612	59,377

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△112,612千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△116,282千円、セグメント間取引消去3,669千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	451,977	—	451,977	—	451,977
研究開発支援	136,274	—	136,274	—	136,274
プラントサービス	—	60,881	60,881	—	60,881
顧客との契約から生じる収益	588,251	60,881	649,132	—	649,132
外部顧客への売上高	588,251	60,881	649,132	—	649,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	56,439	56,439	△56,439	—
計	588,251	117,321	705,572	△56,439	649,132
セグメント利益又は損失(△)	236,173	△8,737	227,436	△134,279	93,156

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△134,279千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△135,697千円、セグメント間取引消去1,417千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。